

iCON
pro audio



Virtual 6/8 FH

「VirtualPort™」マトリックス・テクノロジー搭載、49鍵ベロシティ・センシティブ / セミ・ウェイト・ピアノ鍵盤式 USB MIDI コントローラー・キーボード。



ユーチャーズマニュアル





電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがつた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

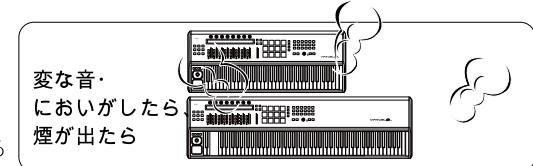
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなつたり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理をご依頼ください。

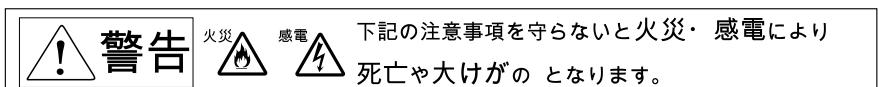
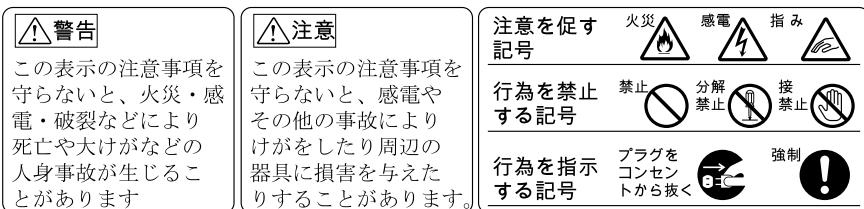
万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理を依頼する



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容物

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください	5
特徴	6
上面パネルレイアウト	7
コントロール・ボタンのレイアウト	9
VirtualPort™ に関する説明	11
詳細設定	12
キーボードの設定	12
パッドの設定	13
リヤパネルレイアウト	14
ご使用前の準備	15
Virtual FH・システムの接続	15
www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドラ イバをダウンロードします	17
Windows に iMap™ をインストールする	17
上で MIDI 機能を指定する iMap™	20
iMap™ Virtual FH ソフトウェア・パネル	21
ファームウェアのアップグレード	33
デフォルト工場設定に戻す	34
製品仕様	35
付録 A (HUI および Mackie Control のプロトコル機能)	36
付録 B (キースイッチのベロシティ曲線の選択肢)	41
付録 C (ドラムパッドのベロシティ曲線の選択肢)	42
修理について	43

はじめに

ICON Virtual FH USB MIDI コントローラー・キーボードをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Virtual FH USB MIDI コントローラー・キーボードの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

次のリンクのサイトから製品を登録してください：www.iconproaudio.com/registration:

次の手順に従ってください。まず、デバイスのシリアル番号と個人情報などを記入します。www.iconproaudio.com にてオンラインで製品をご登録いただくと、サービスやアフターセールスサポートを弊社のヘルプセンターからお受けになります。また、個人製品ページでお客様のアカウントに登録済み製品が表示されるので、そこでお使いのデバイスのファームウェア / ドライバのアップグレード、ソフトウェアバンドル、ユーザーマニュアルのダウンロードなど行うことができます。

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

付属品をご確認ください

- Virtual 6 FH / Virtual 8 FH - 61/88 鍵、ベロシティ・センシティブ、ピアノ型 USB MIDI コントローラー・キーボード 1 台
- クイックスタート ガイド 1 通
- USB 2.0 ケーブル 1 本

お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。.

画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。



形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合： ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合： 「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

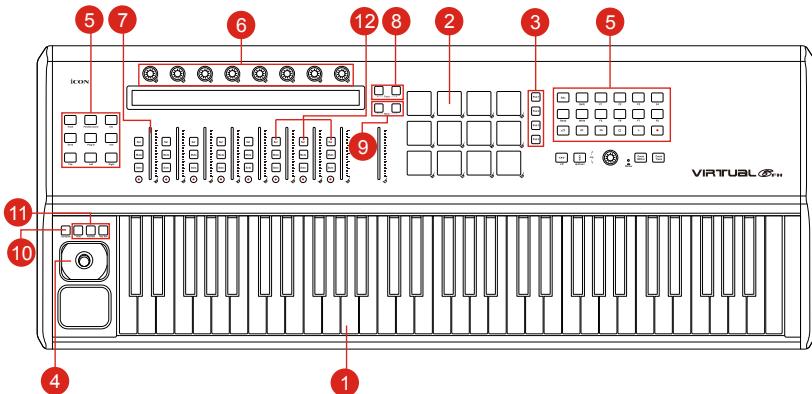
このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

特徴



- Fatar ベロシティセンシティブ・ハンマーアクション・ピアノ型キー。
- キースイッチとパッドで、複数のソフトウェアに複数の機能を割り当てて同時に動作させることができます。
- パワフルなコントローラが装着されており、Mackie コントロールと HUI プロトコルで簡単にセットアップできます。
- ピアノスタイルのセミウェイト・タッチ / ベロシティ・センシティブなキーボード
- ピッチ / モジュレーション兼用ジョイスティック
- デュアル機能エンコーダー一つまみ(入力して回す)8個
- 8+1個の指定可能なフェーダー
- 12個の一体型ベロシティ・センス付トリガーパッドで MIDI ノート・データや MIDI コントロール・データを送信
- X/Y タッチパッド
- タッチパッドを使用したパッド・ロール・エフェクトとキー・ロール・エフェクト用に、「Hold」、「Pad Roll」、「Key Roll」機能ボタンが装着されています。
- 各チャンネルのチャンネル名やコントロール値を表示する背景照明式大型 LCD
- 62 アサイン可能なボタン
- 高速検索およびコントロール用ジョグホイールシャトル
- 録音、ソロ、ミュート、セレクター、を含む、各チャンネル用照明式ボタン
- 再生、停止、録音、巻戻し、早送り、ループを含む、照明式トランスポートボタン 6 個
- 4 個の方向キーのある照明式ズームキー
- 移調ボタンとキースイッチを使って、ピッチを効果的にシフトできます。
- 複数のベロシティ・カーブが選択可能(キーとパッド)
- 1 x 116 チャンネル MIDI I/O。
- エクスプレッションおよびサステイン・ペダル用 TRS コネクター
- ICON の「Synth」シリーズ・シンセサイザー・モジュール・カード用拡張スロット
- ICON の「Satellite」シリーズ USB オーディオインターフェースカード用拡張スロット
- オプションの iPad ホルダー用取付穴付き。
- Windows XP、Vista (32 ビット)、Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)、Windows 8 (32 ビットおよび 64 ビット)、Windows 10 (32 ビットおよび 64 ビット)、Mac OS X (Intel Mac) クラス・コンプライアント
- 高速 USB 2.0 対応
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Ableton Live 用の Mackie コントロール内蔵
- Pro Tool 用の内蔵の Mackie HUI プロトコル
- Sonar など他社製 DAW 用ユーザー定義モード (MIDI 学習)。
- USB 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Ableton Live など一般的な各 DAW 用テンプレートラベルを同梱
- Kensington ロックポート付きの堅固なアルミニウム金属製筐体。

上面パネルレイアウト



注意: DAWによって機能がわずかに異なることがあります。各機能については DAWの取扱説明書をご覧ください。ご使用の DAWに合わせて添付のラベルテンプレートを重ね合わせてください。以下の説明は、Apple Logic™ の動作機能に基づいています。

1. 49 鍵キースイッチ

49 鍵、セミウェイト・タッチ / ベロシティ・センシティブ、ピアノ型キースイッチ

2. 一体型ベロシティ・センス付トリガーパッド (12 個)

MIDI ノート・データや MIDI コントロール・データを送信します。

3. パッド 1 ~ 4 ボタン

12 個のパッドで 4 つのレイヤー設定が切替ができます。

4. ゾーン 1/ レンジ 1

垂直方向 モジュレーション効果を調整します。

水平方向 ピッチベンドを調整します。手を離すと中央位置に戻ります。

5. コントロール・ボタン

Virtual FH の各機能のコントロールと設定と起動。

6. つまみ

8 個のロータリーエンコーダー式つまみは、トラックのパンポジションや AUX 出力レベルや DAW の EQ レベルをコントロールするために使用します。プラグインや仮想楽器の特定のパラメータを調整するためにプリセットすることもできます。

ヒント: Mackie コントロールと HUI プロトコルの機能については、付録 A を参照してください。

7. フェーダー

フェーダーはプログラム可能で、これをスライドさせると、音量などのリニア MIDI パラメーターを調整したり、iMap™ ソフトウェアを使って MIDI メッセージを変更することができます。

ヒント: Mackie コントロールと HUI プロトコルの機能については、付録 A を参照してください。

8. Track </> ボタン

Track <	全部のフェーダーが、1 チャンネル分、上にシフトします(マスター チャンネルを除く)。
Track >	全部のフェーダーが、1 チャンネル分、下にシフトします(マスター チャンネルを除く)。

9. Bank </> ボタン

Bank <	全部のフェーダーが、8 チャンネル分、上にシフトします(マスター チャンネルを除く)。
Bank >	全部のフェーダーが、8 チャンネル分、下にシフトします(マスター チャンネルを除く)。

10. Transpose ボタン

キーボードで演奏された音程を 1 オクターブずつ上下します。

ヒント: 「入れ替え」ボタンを押しながら鍵盤スイッチ(元々の c1(中央のド) ポジションから 1 オクターブ以内)を押すと、そのスイッチが c1 に変更されます。

注意: 2 個以上のゾーンが設定されている場合は、最初のゾーンのみでピッチが変更できます。

11. Hold、Pad Roll、Key Roll ボタン

タッチパッドを使用したパッド・ロール・エフェクトとキー・ロール・エフェクト用に、「Hold」、「Pad Roll」、「Key Roll」機能ボタンが装着されています。

12. DAW セレクター セクション

Virtual FH には、Cubase™, Samplitude™, Ableton Live™, Logic Pro™ や ProTool™ など、各種 DAW の Mackie コントロールプロトコル & HUI が統合されています。適切な DAW および Mackie コントロールプロトコル (HUI) を選択すると、Virtual FH に主な機能が自動的にマッピングされ、DAW とシームレスに動作させることができます。

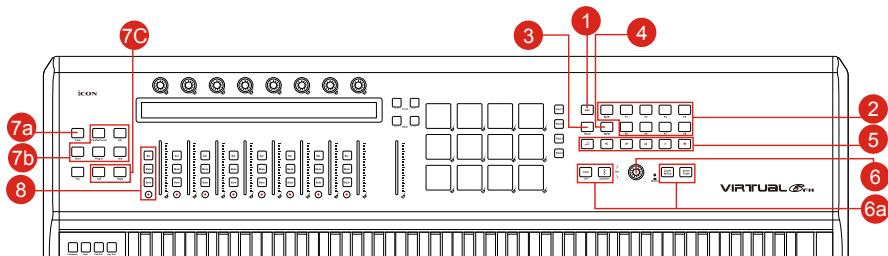
<</>> ボタン	この矢印ボタンは、DAW リストのスクロールに使用されます。LCD には DAW の名称が表示されます。
DAW ボタン	これを押すと、DAW 選択モードになります。

Virtual FH DAW モードを変更するには、電源スイッチを一旦オフにしてからオンにして、DAW 選択モードにします。「<<」と「>>」ボタンで、リストから希望の DAW を選択してください。

ヒント: DAW のソフトウェアが実行されている場合、DAW ボタンを起動することはできません。

注意: Virtual FH フームウェアは隨時更新されるので、現在のリストに表示されていない DAW が追加サポートされることがあります。当社の公式 HP をご覧の上、Virtual FH フームウェアをダウンロードして更新してください)。

コントロール・ボタンのレイアウト



1. 詳細設定

上級ユーザー向けの詳細設定（詳しくは9ページをご覧ください）

2. ユーザー指定コントロールボタン (Shift/F1-F8)

このセクションで説明するコントロールボタンは、Mackie コントロール (HUI mode) モードでユーザー指定されています。お好みに合わせてパラメータを設定することができます。設定パラメータを記入する PVC ラベルマスクが同梱されています。

3. READ(読み込み)ボタン

READ ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの読み込み機能が起動します。

4. WRITE(書き込み)ボタン

WRITE ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの書き込み機能が起動します。

5. トランスポートコントロールボタンセクション

PLAY(再生) ボタン	DAW の再生機能を起動します。
STOP(停止) ボタン	DAW の停止機能を起動します。
REC(録音) ボタン	DAW の録音機能を起動します。
REWIND(巻戻し) ボタン	DAW の巻戻し機能を起動します。
FAST FORWARD(早送り) ボタン	DAW の早送り機能を起動します。
LOOP(ループ) ボタン	DAW のループ機能を起動します。

6. ジョグホイールセクション

ジョグホイールは、シャトルやスクラブ機能など、DAW アプリケーション固有の目的に使用されます。

6a. ズームコントロールボタンセクション

ズーム上 / 下ボタン	ズーム上 / 下ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) の上下方向へのナビゲーションに使用します。
ズーム左 / 右ボタン	左 / 右ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) の左右方向へのナビゲーションに使用します。

ズーム・イン / アウト・ボタン	トラックを水平方向にズーム・インまたはズーム・アウトします。
ズーム・トラック	トラックを垂直方向にズーム・インまたはズーム・アウトします。

7. サブコントロールボタン

このセクションのコントロールボタンは DAW によって異なります。Virtual FH は、Logic™ を基にして設定されています。

注意: 異なる DAW では、ラベルが完全に一致するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。)

7a. 割当セクション

トラック・ボタン - ソフトウェアのトラック・パラメータが起動します。

7b. PAN/Surround/EQ/Send/Plug-in/Instrument ボタン

このボタンを押すと、それぞれ対応する DAW 機能が起動します。これらは通常、ロータリーエンコーダー一つまみと一緒に使用されます。ボタンを押すとそのランプが点灯します。ロータリーエンコーダー一つまみを回して値を調整してください。その値は、すぐ上の LCD に表示されます。

7c. 左 / 右ボタン

一部のファンクションモードでは、左 / 右ボタンを押すと、液晶画面に表示されるパラメータがスクロールできます。

8. 録音チャンネルコントロールボタンセクション

REC(録音) ボタン	対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。
SOLO(ソロ) ボタン	対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが赤色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。別のチャンネルの SOLO ボタンを押すと、それらのチャンネルも同時にオンになります。
MUTE(ミュート) ボタン	対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが青く点灯します。赤く点灯したチャンネルがミュートされます。
SEL(選択) ボタン	SEL ボタンを押すと DAW ソフトウェアの対応するチャンネルが起動し、特定の機能を実行することができます(例: 割り当て可能なエンコーダーで EQ を調整する場合、SEL スイッチを使って、調整したいチャンネルを選択することができます)。チャンネルを選択すると、対応する SEL スイッチの赤い LED が点灯します。

VirtualPort™ に関する説明

Virtual FH には VirtualPort™ という名のパワフルな機能が搭載されています。ここでは VirtualPort™ やそのパワフルな機能について説明します。4 個の独立した USB 接続端子のある機器が、4 台別々にあるとお考えください。

最初のメリットは、これらの機器が自由にセットアップできることです。各機器ごとにまったく異なる設定が行えます。たとえば、ピアノサウンドバンクでキースイッチを、ドラムパッドでドラムサウンドがセットアップできます。2 番目に、お使いのアプリケーションで 4 台それぞれの機器が独立して認識されるので、各コントローラーで 4 つの異なるアプリケーションを同時にコントロールできます。3 番目に、各機器(下に列記)にはオンオフ可能な VirtualPort™ が 4 個装着されており、他の VirtualPort™ チャンネルに MIDI メッセージを送信するマトリックスのように動作します。

機器の工場初期設定：

Virtual FH ハードウェア	VirtualPort™ preset setting	DAW naming
キースイッチ	VirtualPort™ 1	USB Audio Device
12 個のドラムパッド	VirtualPort™ 2	USB Audio Device [2]
コントローラー(フェーダー、つまみ、ボタンなど)	VirtualPort™ 3	USB Audio Device [3]
MIDI Out ポート	VirtualPort™ 4	USB Audio Device [4]

注意: お使いの DAW で Mackie コントロールや HUI プロトコルを使用する際には、DAW 設定の MIDI In/Out 機器として、「USB Audio Device [3]」を選択してください。

詳細設定

ICON には画期的でユニークな VirtualPort™ (仮想マルチ USB ポート・マトリックス・テクノロジー) が採用されています。

これによって、4 個の独立したアプリケーション (ソフトウェアやサウンドバンクなど) を同時に使用することが可能となります。キースイッチで 5 個の異なるゾーンが利用できます。それぞれで詳細な設定が行えます。12 個のパッドは、個別に、詳細な設定ができます。

「詳細設定」メニューに進むには「Advance」ボタンを押してください。「Keyboard settings」、「Pad settings」を含む 2 つの主要設定があります。

キーボードの設定

最初のエンコーダーを回して「Keyboard set」を選択し、2 番目のエンコーダーを回して、下のようにサブメニュー機能を選択します。

オクターブ	液晶画面に表示された 5 個のゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、値が (-10) から (+10) まで変化します。
移調	液晶画面に表示された 5 個のゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、値が (-12) から (+12) まで変化します。
チャンネル	液晶画面に表示された 5 個のゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、値が 1 から 16 まで変化します。
ペロシティ	液晶画面に表示された 5 個のゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、値が 1 から 12 まで変化します。 注意: 各ペロシティ曲線の図については、39 ページをご覧ください。
範囲	5 個の各ゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回してゾーンを選択し (選択されたゾーンには「*」マークが付く)、最初と最後のキーを押してゾーン範囲を設定します。
VirtualPort1-4	これは VirtualPort™ 仮想マトリックスの設定です。各ゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、ゾーンがオンオフされます。
MIDI Out	これは、Virtual FH のリアパネルにある MIDI Out ポートを指しています。液晶画面に表示された 5 個のゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、値が Off から On まで変化します。
プログラム	液晶画面に表示された 5 個のゾーンのすぐ上にあるエンコーダーを回すと、値が 0 から 127 まで変化します。

パッドの設定

最初のエンコーダーを回して「Pad set」を選択し、12個のパッドを押してパッド1からパッド12のいずれかを選択します。2番目のエンコーダーを回して、下のようにサブメニュー機能を選択します。

モード	3番目のエンコーダーを回して、MIDIメッセージタイプ「Note」または「Control」を選択します。
チャンネル	3番目のエンコーダーを回して、1から16までの値のいずれかを選択します。
ベロシティ	3番目のエンコーダーを回して、1から6までの値のいずれかを選択します。 注意: 各ベロシティ曲線の図については、40ページをご覧ください。
注意	3番目のエンコーダーを回して、C4からg6までの値のいずれかを選択します
VirtualPort 1~4	これはVirtualPort™仮想マトリックスの設定です。3番目のエンコーダーを回して、各パッドのオンまたはオフを選択します
MIDI Out	これは、Virtual FHのリアパネルにあるMIDI Outポートを指しています。3番目のエンコーダーを回してOnまたはOffを選択します。
レイヤー1~4	パッドには4個のレイヤーがあります。レイヤー1からレイヤー4に対応する「Pad1」から「Pad4」までのボタンを押します。

リセット

Virtual FHを工場初期設定にリセットするには、最初のエンコーダーを回して「Reset」を選択し、2番目のエンコーダーを回してリセットプロセスを起動します。

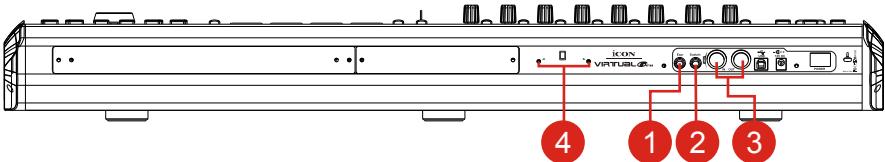
VirtualPort™マルチ仮想USBポート・マトリックス・テクノロジー

お使いのアプリケーションで、4個のVirtualPortsを自由に起動できます。Virtual FHを使用すると、最大4個の異なるアプリケーションを、同時に実行して制御できます。お使いのPCやMacでVirtualPort™を起動するには、アプリケーションで、それに対応するポートを選択します。

注意:OSプラットフォームによって、表示されるポート名が異なります。下にはその例をいくつか示しました。

	VirtualPort 1	VirtualPort 2	VirtualPort 3	VirtualPort 4
Windows XP	USB Audio Device	USB Audio Device [2]	USB Audio Device [3]	USB Audio Device [4]
Windows 7/8/10	iCON Virtual FH Vxx	MIDIIN 2 iCON Virtual FH Vxx	MIDIIN 3 iCON Virtual FH Vxx	MIDIIN 4 iCON Virtual FH Vxx
Mac OSX	Icon Virtual FH Vxxx Port 1	Icon Virtual FH Vxxx Port 2	Icon Virtual FH Vxxx Port 3	Icon Virtual FH Vxxx Port 4

リヤパネルレイアウト



1. エクスプレッション・ペダル入力

この 1/4 インチ入力には、標準型エクスプレッション・ペダルが接続できます。

2. サステイン・ペダル入力

この 1/4 インチジャックには、ピアノ用サステイン・ペダル (ICON SPD-01) などのモーメンタリータイプのフットスイッチが接続できます。

3. Midi In/Out ポート

Midi Out ターミナルに、外部のシンセサイザーやサウンドモジュールを接続します。

4. iPad ホルダー（オプション）用取付穴

オプションの Virtual FH 用 iPad ホルダー (iM-01) の購入については、お近くの ICON 販売店までご相談ください。

ご使用前の準備

Virtual FH・システムの接続

1. Virtual FH を USB1 ポートでコンピューター（Mac/PC）に接続します。

コンピューター（Mac/PC）の USB ポートに USB ケーブルの平型の端子を接続します。ケーブルのもう一方の小型端子を Virtual FH に接続します。ご利用のコンピューター（Mac/PC）が Virtual FH を新しいハードウェアとして自動的に認識し、使用の準備を完了します。

注意：Virtual FH の液晶パネルが点滅する場合や本器が再起動を繰り返す場合、USB ポートが Virtual FH に十分な電源電力を供給していないことが原因であると思われます。別の USB ポートをお使いになるか、Virtual の電源アダプター（別売）をご利用ください。

2. Virtual FH で DAW を選択する

「DAW」ボタンを押してから </> を押して DAW リストをスクロールし、DAW を選択します

ヒント：Virtual FH は最後に選択された DAW モードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。（すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAW モードを選択する必要はありません。）

ヒント：高度な知識のあるユーザーの方は、ご自分でコントローラーに MIDI マッピングを設定することができます。Virtual FH の電源を投入する際に「User Defined」モードを選択し、付属の iMap アプリケーションで MIDI マッピングを設定してください（詳しくは 22 ページをご覧ください）。

2.1 詳細設定

詳細設定でキースイッチとパッドの設定をセットアップします。
(詳しくは 22 ページをご覧ください)

3. DAW のセットアップ

DAW または MIDI ソフトウェアの「MIDI セットアップ」または「MIDI デバイス」を使って、ICON Virtual FH コントローラーを起動します。

For LogicTM, CubaseTM や NuendoTM では、「デバイスリスト」から「Mackie コントロール」を選択してください。

注意：アプリケーションによって設定方法が異なることがあるので、設定についてはソフトウェアのユーザー・マニュアルを参照してください。

Virtual FH の各セクション、および、OS プラットフォームに表示された機器名に対する VirtualPort™ の工場初期設定を説明した下表をよくお読みください。

OS プラットフォームによって、表示されるポート名が異なります。下にはその例をいくつか示しました。

	VirtualPort 1	VirtualPort 2	VirtualPort 3	VirtualPort 4
Windows XP	USB Audio Device	USB Audio Device [2]	USB Audio Device [3]	USB Audio Device [4]
Windows 7/8/10	iCON Virtual FH Vxx	MIDIIN 2 iCON Virtual FH Vxx	MIDIIN 3 iCON Virtual FH Vxx	MIDIIN 4 iCON Virtual FH Vxx
Mac OSX	Icon Virtual FH Vxxx Port 1	Icon Virtual FH Vxxx Port 2	Icon Virtual FH Vxxx Port 3	Icon Virtual FH Vxxx Port 4

機器の工場初期設定：

Virtual FH ハードウェア	VirtualPort™ preset setting	DAW naming
キースイッチ	VirtualPort™ 1	USB Audio Device
12 個のドラムパッド	VirtualPort™ 2	USB Audio Device [2]
コントローラー（フェーダー、つまみ、ボタンなど）	VirtualPort™ 3	USB Audio Device [3]
MIDI Out ポート	VirtualPort™ 4	USB Audio Device [4]

注意：お使いの DAW で Mackie コントロールや HUI プロトコルを使用する際には、DAW 設定の MIDI In/Out 機器として、「USB Audio Device [3]」を選択してください。

www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。

1. Mac OS X に iMap™ をインストールする

Mac OS X をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。



Windows に iMap™ をインストールする

Windows をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください

1. コンピューターの電源を入れます。

2. www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。

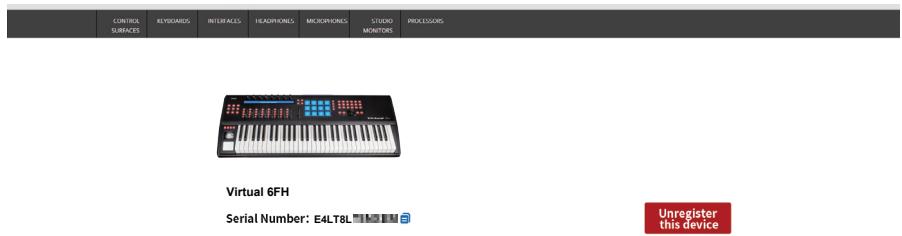


図 2

3. セットアップ・ウィザードが表示されます。

セットアップ・ウィザードが表示されますので、「続行」をクリックしてください。



図 3

4. インストール先を選択します。

既定のインストール先のまま、あるいは好みのインストール先を選択してから「次へ」をクリックします。



図 4

5. ショートカットを選択します。

iMap™ のショートカットを作成したいスタートメニュー・フォルダを選択します。「次へ」をクリックして続行します。



図 5

6. デスクトップにショートカット・アイコンを作成します。

iMap™ のショートカット・アイコンをデスクトップに作成したくない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。それ以外の場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

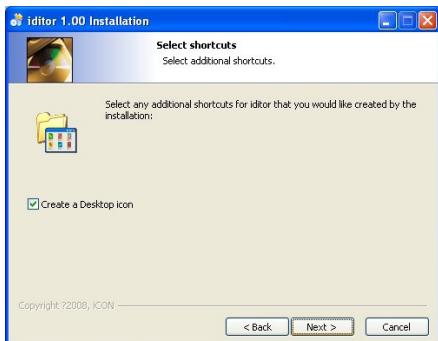


図6

7. iMap™ のインストールが開始されます。

これで iMap™ のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。完了したら「次へ」をクリックして続行します。



図7

8. インストールを終了します。

「終了」をクリックして iMap™ ソフトウェアのインストールを終了します。



図8

上で MIDI 機能を指定する iMap™

iMap™ を利用すると、MIDI 機能を容易に Virtual FH にアサインすることができます。これは、次の 3 つの主なセクションで構成されます。「Key」、「Pad」、「Controller」。これらは下に詳しく説明されています。「Controller」以外の 2 つの設定「Key」と「Pad」は、Virtual FH のハードウェアからも設定できます(詳しくは 11 ページの「Advance Setting」をご覧ください)。

ご注意:ご利用の Virtual FH がコンピューター（Mac/PC）に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、Virtual FH を USB ポートでコンピューター（Mac/PC）に接続してください。

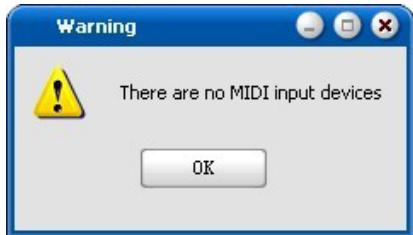


図 9

iMap™ Virtual FH ソフトウェア・パネル

1. キー – お使いの Virtual FH のキースイッチに MIDI 機能を割り当てます。

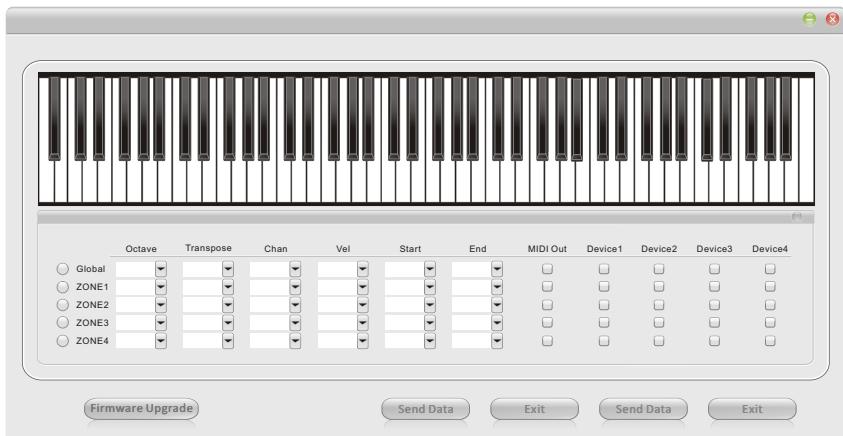


図 10

最大 5 個のゾーンに Virtual FH のキースイッチを設定することができます。各ゾーンには別々の設定を割り当てることができます。それについては下表に示してあります。

	機能	値	説明
ゾーン 1 ~ 5	Octave	-10 to +10	対応するゾーンのキースイッチにオクターブ値が設定されます。
	Transpose	-12 to +12	対応するゾーンのキースイッチに移調値が設定されます。
	Channel	1 to 16	対応するゾーンのキースイッチに MIDI チャンネルが設定されます。
	Velocity	+1 to +12	対応するゾーンのキースイッチにペロシティ曲線が設定されます。
	Start	1 to 88	対応するゾーンの最初のキーが設定されます。
	End	1 to 88	対応するゾーンの最後のキーが設定されます。
	MIDI Out	On / Off	「Check」を入れると、対応するゾーンの MIDI Out VirtualPort が起動します。
	VirtualPort 1	On / Off	「Check」を入れると、対応するゾーンの VirtualPort 1 が起動します。
	VirtualPort 2	On / Off	「Check」を入れると、対応するゾーンの VirtualPort 2 が起動します。
	VirtualPort 3	On / Off	「Check」を入れると、対応するゾーンの VirtualPort 3 が起動します。
	VirtualPort 4	On / Off	「Check」を入れると、対応するゾーンの VirtualPort 4 が起動します。

注意: 各ゾーンで 4 個の VirtualPort™ と MIDI Out ポートが起動できます。起動したポートにメッセージが送信されます。起動するには、対応する各チェックボックスに「check」を入れてください。

2. パッド – お使いの Virtual FH のドラムパッドに MIDI 機能を割り当てます

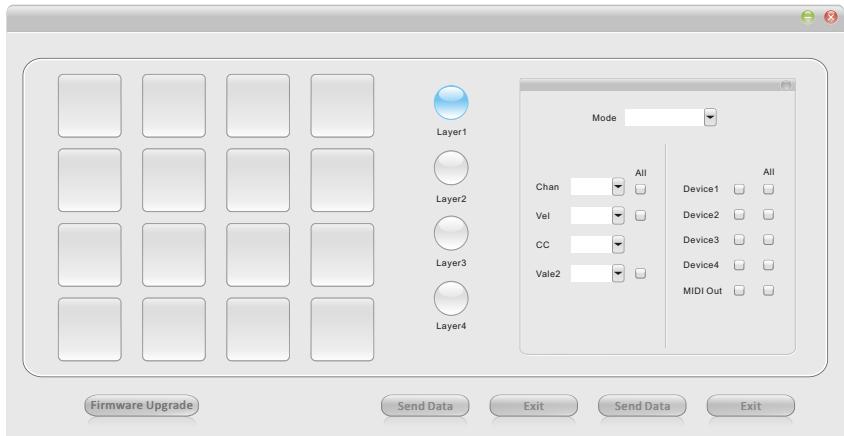


図 11

4 個のレイヤーにそれぞれ 16 個のパッドがあり（全部で 64 個のパッド）、これらにそれぞれ別々の MIDI 機能を割り当てることができます。パッドを割り当てるには、それをクリックし（青く点灯）、下に示すように、左表の機能を選択します。

「Note」、「Control」、「Programme」を含む 3 種類のモードが選択できます。各モードには、下表に示すように、個別の MIDI メッセージと設定があります。

モード	機能	値	説明	全部のチェックボックス
Note	Channel	1 to 16	対応するパッドに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、対応するレイヤーの 16 個のパッド全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Velocity	+1 to +12	対応するパッドにペロシティ曲線が設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、対応するレイヤーの 16 個のパッド全部に、選択されたペロシティが割り当てられます
	Note	-1(C) to 9(G)	対応するパッドにノート値が設定されます	-

"Control (CC value)"	Channel	1 to 16	対応するパッドに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、対応するレイヤーの16個のパッド全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	CC 1 value	0 to 127	対応するパッドの第1 CC 値が設定されます (パッドを押した状態)。	-
	CC2 value	0 to 127	対応するパッドの第2 CC 値が設定されます (パッドを放した状態)。	このボックスにチェックマークを入れると、対応するレイヤーの16個のパッド全部に、選択された CC 値が割り当てられます。

Program	Channel	1 to 16	対応するパッドに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、対応するレイヤーの16個のパッド全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Program	0 to 127	対応するパッドにプログラム値が設定されます	-

注意: キースイッチと同様、各パッドで4個のVirtualPort™とMIDI Outポートが起動できます。起動したポートにメッセージが送信されます。起動するには、対応する各チェックボックスに「check」を入れてください。

3. コントローラー - お使いのVirtual FHのコントローラーにMIDI

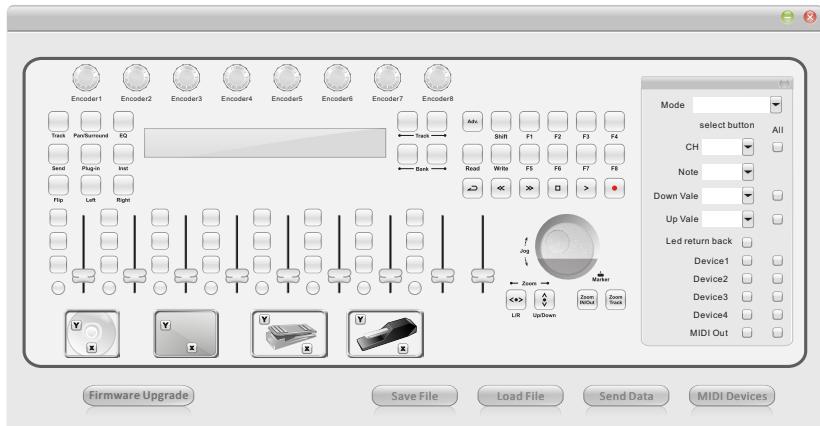


図12

機能を割り当てます。

注意: Mackie コントロールか HUI モードを使用する場合、この設定を調整する必要はありません。電源を入れる際に、お使いのDAWに応じて適切なDAWモードを選択するだけです。(詳しくは14ページをご覧ください)

以下に、Virtual FH コントローラーにご自分で MIDI マッピングを設定したい高度なユーザーのために、設定法が説明されています。

3.1 つまみ

下表に示すように、どのつまみにも 2 個の機能設定(入力と回転)があります。

つまみの機能	MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明	全部のチェックボックス
入力(つまみの下部をクリックする)	Note	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、8個のつまみ全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		Note	-1(C) to 9(G)	対応するつまみにノート値が設定されます。	-
		Up value	0 to 127	押しているつまみを放すと(入力状態から解放されると)、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、8個のつまみ全部に、選択された値が割り当てられます。
		Down value	0 to 127	つまみを押すと(入力すると)、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、8個のつまみ全部に、選択された値が割り当てられます。
	Control	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、8個のつまみ全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		CC	0 to 127	対応するつまみに CC 値が設定されます。	-
	Program	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、8個のつまみ全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		Program	0 to 127	対応するつまみにプログラム値が設定されます	-

<p>"Rotate (Click the upper part of the knob)"</p>	<p>"MCU (Mackie Control Emulation)"</p>	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設 定されます。	このボックスにチ ェックマークを入 れると、8個のつ まみ全部に、選択 されたチャンネル が割り当てられま す。
		CC	0 to 127	対応するつまみにノ ート値が設定されま す。	-
		Anti- clockwise value	0 to 127	つまみを反時計回り に回すと、この値が送 信されます。これ は、選択された音階 の値と一緒に送信さ れます。	このボックスにチ ェックマークを入 れると、8個のつ まみ全部に、選択 された値が割り当 てられます。
		Clockwise value	0 to 127	つまみを右回りにに 回すと、この値が送 信されます。これは、 選択された音階の値 と一緒に送信されま す。	このボックスにチ ェックマークを入 れると、8個のつ まみ全部に、選択 された値が割り当 てられます。
	<p>Pitch</p>	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設 定されます。	このボックスにチ ェックマークを入 れると、8個のつ まみ全部に、選択 されたチャンネル が割り当てられま す。
		Pitch	0 to 127	対応するつまみにピ ッヂベンド値が設定 されます	-
	<p>Control</p>	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設 定されます。	このボックスにチ ェックマークを入 れると、8個のつ まみ全部に、選択 されたチャンネル が割り当てられま す。
		CC	0 to 127	対応するつまみに CC 値が設定されます。	-

注意: 各ノブで 4 個の VirtualPort™ と MIDI Out ポートが起動できます。起動したポートにメッセージが送信されます。起動するには、対応する各チェックボックスに「check」を入れてください。

3.2 フェーダー

下表に示すように、各設定には 9 個のフェーダーがあります。

MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明	「ON」チェックボックス	全部のチェックボックス
Control	Channel	1 to 16	対応するフェーダーに MIDI チャンネルが設定されます。	-	このボックスにチェックマークを入れると、9 個のフェーダー全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	CC	0 to 127	対応するフェーダーに CC 値が設定されます。	-	-
	Touch Note	-1(C) to 9(G)	フェーダーを動かした瞬間に送信される値が設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、この機能が起動します。	このボックスにチェックマークを入れると、9 個のフェーダー全部に、選択された値が割り当てられます。
	Return value	1 to 16	選択された CC 値と一緒に送信される MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、この機能が起動します。	このボックスにチェックマークを入れると、9 個のフェーダー全部に、選択された値が割り当てられます。
Program	Channel	1 to 16	対応するフェーダーに MIDI チャンネルが設定されます。	-	このボックスにチェックマークを入れると、9 個のフェーダー全部に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Program	0 to 127	対応するフェーダーのプログラム値が設定されます。	-	-
	Touch Note	-1(C) to 9(G)	フェーダーを動かした瞬間に送信される値が設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、この機能が起動します。	このボックスにチェックマークを入れると、9 個のフェーダー全部に、選択された値が割り当てられます。
	Return value	1 to 16	選択されたプログラム値と一緒に送信される MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、この機能が起動します。	このボックスにチェックマークを入れると、9 個のフェーダー全部に、選択された値が割り当てられます。

注意: 各フェーダーで 4 個の VirtualPort™ と MIDI Out ポートが起動できます。起動したポートにメッセージが送信されます。起動するには、対応する各チェックボックスに「check」を入れてください。

3.3 ボタン

下表に示すように、各設定には 62 個のボタンがあります。

MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明	全部のチェックボックス
Note	Channel	1 to 16	対応するボタンに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Note	-1(C) to 9(G)	対応するボタンにノート値が設定されます。	-
	Down value	0 to 127	ボタンを押すと、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択された値が割り当てられます。
	Up value	0 to 127	押しているボタンを放すと、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択された値が割り当てられます。
Control	Channel	1 to 16	対応するボタンに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	CC	0 to 127	対応するボタンに CC 値が設定されます。	-
	Value	0 to 127	ボタンを押すと、この値が送信されます。これは、選択された CC 値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択された値が割り当てられます。
Program	Channel	1 to 16	対応するボタンに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Program	0 to 127	対応するボタンにプログラム値が設定されます。	-

LED 同期チェックボックス

このボックスにチェックマークを入れると、DAW の各ボタンで、Virtual FH の選択されたボタンの同期機能が起動します。DAW にハードウェアへの MIDI メッセージ送信機能がない場合、このボックスにチェックマークを入れてもボタンは同期されません。

注意 :各ボタンで 4 個の VirtualPort™ と MIDI Out ポートが起動できます。起動したポートにメッセージが送信されます。起動するには、対応する各チェックボックスに「check」を入れてください。

3.4 ジョグ・ホイール

各ボタンを組み合わせることにより、下表に示すように、各設定に対して、実質的に5個の別々なジョグ・ホイールが使用できることになります。各ジョグ・ホイールを起動するには、下に示す組合せに従って、ジョグ・ホイールとボタンをクリックしてください。

ジョグ・ホイール 1	ジョグ・ホイールのみをクリック
ジョグ・ホイール 2	ジョグ・ホイールとボタン「Zoom </>」をクリック
ジョグ・ホイール 3	ジョグ・ホイールとボタン「Zoom Up/Down」をクリック
ジョグ・ホイール 4	ジョグ・ホイールとボタン「Zoom In/Out」をクリック
ジョグ・ホイール 5	ジョグ・ホイールとボタン「Zoom track」をクリック

ジョグ・ホイールの機能	MIDIメッセージタイプ	機能	値	説明	全部のチェックボックス
"Enter (Click the lower part of Jog wheel)"		Channel	1 to 16	つまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
				つまみに音階の値が設定されます。	-
		Up value	0 to 127	押しているつまみを放すと(入力状態から解放されると)、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。
				つまみを押すと(入力すると)、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。
		Channel	1 to 16	ジョグホイールに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
				つまみに CC 値が設定されます。	-
		Value	0 to 127	選択された CC 値と一緒に送信される値が設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。

"Rotate (Click the upper part of jog wheel)"	"MCU (Mackie Control Emulation)"	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のボタンに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		CC	0 to 127	対応するつまみに音階の値が設定されます。	-
		Anti-clockwise value	0 to 127	つまみを反時計回りに回すと、この値が送信されます。これは、選択された CC 値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。
		Clockwise value	0 to 127	つまみを右回りに回すと、この値が送信されます。これは、選択された CC 値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。
	Note	Channel	1 to 16	つまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		Note	-1(C) to 9(G)	つまみに音階の値が設定されます。	-
		Anti-clockwise value	0 to 127	つまみを反時計回りに回すと、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。
		Clockwise value	0 to 127	つまみを右回りに回すと、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択された値が割り当てられます。
	Control	Channel	1 to 16	対応するつまみに CC 値が設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		CC	0 to 127	対応するつまみに MIDI チャンネルが設定されます。	-
	Program	Channel	1 to 16	対応するつまみに MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、全部のジョグ・ホイールに、選択されたチャンネルが割り当てられます。
		Program	0 to 127	対応するつまみにプログラム値が設定されます。	-

3.5 TouchPad

MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明	全部のチェックボックス
Control	Channel	1 to 16	X 軸と Y 軸に MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、X 軸と Y 軸の両方に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	CC	0 to 127	X 軸と Y 軸に CC 値が設定されます。	-
Pitch	Channel	1 to 16	X 軸と Y 軸に MIDI チャンネルが設定されます。	このボックスにチェックマークを入れると、X 軸と Y 軸の両方に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Pitchbend	0 to 127	X 軸と Y 軸のピッチベンドが設定されます。	-

3.6 Joystick

MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明	全部のチェックボックス
Control	Channel	1 to 16	X 軸と Y 軸に MIDI チャンネルが設定されます	このボックスにチェックマークを入れると、X 軸と Y 軸の両方に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	CC	0 to 127	X 軸と Y 軸に CC 値が設定されます。	-
Pitch	Channel	1 to 16	X 軸と Y 軸に MIDI チャンネルが設定されます	このボックスにチェックマークを入れると、X 軸と Y 軸の両方に、選択されたチャンネルが割り当てられます。
	Pitchbend	0 to 127	X 軸と Y 軸のピッチベンドが設定されます。	-

3.7 サステインペダル

MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明
Note	Channel	1 to 16	ペダルに MIDI チャンネルが設定されます。
	Note	-1(C) to 9(G)	ペダルに音階の値が設定されます。
	Up value	0 to 127	押されたペダルをリリースすると、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。
	Down value	0 to 127	ペダルを下に押したときにこの値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。

Control	Channel	1 to 16	ペダルに MIDI チャンネルが設定されます。
	CC	0 to 127	ペダルに CC 値が設定されます。
	Value	0 to 127	選択された CC 値と一緒に送信される値が設定されます。

Program	Channel	1 to 16	ペダルに MIDI チャンネルが設定されます。
	Program	0 to 127	ペダルにプログラム値が設定されます。
	Value	0 to 127	選択されたプログラム値と一緒に送信される値が設定されます。

3.8 エクスプレッションペダル

MIDI メッセージタイプ	機能	値	説明
Note	Channel	1 to 16	ペダルに MIDI チャンネルが設定されます。
	Note	-1(C) to 9(G)	ペダルに音階の値が設定されます。
	Up value	0 to 127	押されたペダルをリリースすると、この値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。
	Down value	0 to 127	ペダルを下に押したときにこの値が送信されます。これは、選択された音階の値と一緒に送信されます。

Control	Channel	1 to 16	ペダルに MIDI チャンネルが設定されます。
	CC	0 to 127	ペダルに CC 値が設定されます。
	Value	0 to 127	選択された CC 値と一緒に送信される値が設定されます。

Program	Channel	1 to 16	ペダルに MIDI チャンネルが設定されます。
	Program	0 to 127	ペダルにプログラム値が設定されます。
	Value	0 to 127	選択されたプログラム値と一緒に送信される値が設定されます。

4. 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、現在の Virtual FH の設定を保存します。保存ファイルの拡張子は「.inspire」です。

5. 「ファイルを開く」ボタン

このボタンをクリックして、保存された Virtual FH の「.inspire」設定ファイルを開きます。

6. 「データの送信」ボタン

このボタンをクリックして iMap™ ソフトウェアの設定を USB 接続経由で Virtual FH に送信します。

ご注意：Virtual FH がご利用のコンピューターに接続されていなければなりません。接続されていない場合は送信出来ません。

7. 「MIDI デバイス」ボタン

このボタンをクリックすると、図 13 のデバイス・セレクター画面が表示されます。MIDI Out デバイスで「ICON Virtual FH」を選択してください。



図 13

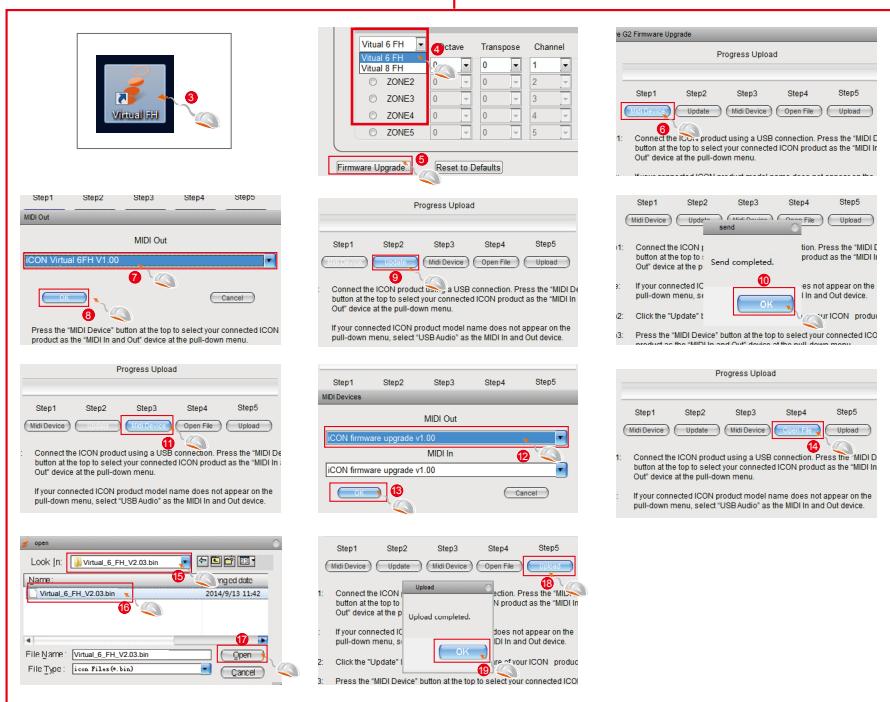
注意：Virtual FH に iMap の設定をアップロードするには、「MIDI Device」ボタンをクリックしてから、ポップアップ・ウィンドウで「Virtual FH」を選択してください。上記の手順を実行する前に、お使いの PC や Mac に Virtual FH が接続されていることを確認してください。

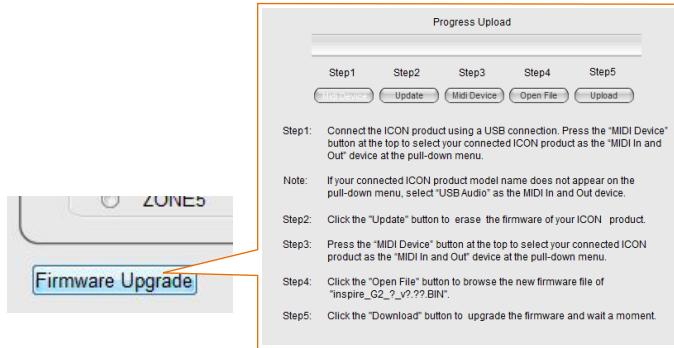
8. 「ファームウェア・アップグレード」ボタン

このボタンをクリックすると、Virtual FH のファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、32 ページをご覧ください。

ファームウェアのアップグレード

Virtual FH series functional firmware upload procedure





ステップ1: USB を介して ICON 製品を接続します。一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続した ICON 製品を選択します。

注意: 接続した ICON 製品のモデル名がプルダウン・メニューに表示されない場合、MIDI In and Out デバイスとして、「USB Audio」を選択してください。

ステップ2: 「Update」ボタンをクリックします。

ステップ3: 一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続した ICON 製品を選択します

ステップ4: 「Open File」ボタンをクリックし、新しいファームウェア・ファイルを検索します。

ステップ5: 「Upload」ボタンをクリックし、ファームウェアをアップロードします。

警告: ファイルのアップロード中は、ファームウェアのアップロード・プロセスを中断せずに完了してください。さもないとファームウェアが再書き込みできなくなります。

デフォルト工場設定に戻す

Virtual FH を工場設定にリセットするには、「Advanced」ボタンを押し、最初のエンコーダーを回して「Reset」を選択し、2番目のエンコーダーを回してリセットプロセスを起動します。

製品仕様

	USB	USB connector (standard type)
接続端子	Sustain & Expression	2x1/4" TS connectors
	MIDI I/O	5-pin Din connector
電源供給		12V/100mA DC
消費電力		100mA or less
重量	Virtual 6 FH	
	Virtual 8 FH	
寸法	Virtual 6 FH	996(L) x 386.5(W) x 120(H)mm
		39.2"(L) x 15.2"(W) x 4.7"(H)
	Virtual 8 FH	1374(L) x 386.5(W) x 120(H)mm
		54.1"(L) x 15.2"(W) x 4.7"(H)

付録 A (HUI および Mackie Control のプロトコル機能)

Mackie Control mode function table (Logic Pro)

Controller	Function	Controller	Function
"Encoder 1 - 8 (Rotate) Use with button Track, Pan/Surround, EQ, Send, Plug-in & Inst."	Adjust parameters of channel 1-8 according to selected function (Track, Pan/Surround, EQ, Send, Plug-in & Inst)	Button "Shift"	Additional function for different controls
"Encoder 1 - 8 (Enter) Use with button Track, Pan/Surround, EQ, Send, Plug-in & Inst."	Adjust parameters of channel 1-8 according to selected function (Track, Pan/Surround, EQ, Send, Plug-in & Inst)	Button "F1-F8"	Self define functions at Logic
Fader 1-8	Channel 1-8 volume	Button "Read"	Activate the read function
Fader M	Master channel volume	Button "Write"	Activate the write function
Button "(Explorer)" 1-8	Select track 1-8	Jog wheel (Rotate)	Scrolling the play-line forward & backward
Button "M" 1-8	Mute track 1-8	Joe wheel (Enter)	Activate & deactivate the "Click" function
Button "S" 1-8	Solo track 1-8	"Button ""Zoom L/R"" (Use with Jog wheel)"	Switch between clips
Button "(dot)" 1-8	Record track 1-8	"Button ""Zoom Up/ Down"" (Use with jog wheel)"	Scrolling and selecting track vertically
Button "Track <"	Shift one channel up	"Button ""Zoom In/Out"" (Use with jog wheel)"	Zoom in/out track horizontally
Button "Track >"	Shift one channel down	"Button ""Zoom Track"" (Use with jog wheel)"	Zoom in/out track vertically
Button "Bank <"	Shift eight channel up	"Button ""Track"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "Bank >"	Shift eight channel down	"Button ""Pan/Surround"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Loop)"	Activate the loop function	"Button ""EQ"" (Use with encoder)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "<<"	Activate the rewind function	"Button ""Send"" (Use with encoder)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button ">>"	Activate the fast forward function	"Button ""Plug-in"" (Use with encoder)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Stop)"	Activate the stop function	"Button ""Inst"" (Use with encoder)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Play)"	Activate the play function	Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "(Rec)"	Activate the record function	Button "Left"	Flip page backward
		Button "Right"	Flip page forward

Mackie Control mode function table (Nuendo/Cubase - PVC Overlay)

Controller	Function	Controller	Function
"Encoder 1 - 8 (Rotate) Use with button Pan, EQ, Inserts, Master, FX Sen & VST"	Adjust parameters of channel 1-8 according to selected function (Pan, EQ, Inserts, Master, FX Sen & VST)	"Button ""Shift"" Use with F1-F8 buttons"	F9-F16 self define function
"Encoder 1 - 8 (Enter) Use with button Pan, EQ, Inserts, Master, FX Sen & VST"	Adjust parameters of channel 1-8 according to selected function (Pan, EQ, Inserts, Master, FX Sen & VST)	Button "F1-F8"	Self define function
Fader 1-8	Channel 1-8 volume	Button "Save"	Activate the save function
Fader M	Master channel volume	Button "Undo"	Activate the undo function
Button "(Explorer)" 1-8	Select track 1-8	Jog wheel (Rotate)	Scrolling the play-line forward & backward
Button "M" 1-8	Mute track 1-8	Joe wheel (Enter)	Add marker
Button "S" 1-8	Solo track 1-8	Button "Zoom L/R"	Switch between clips
Button "(dot)" 1-8	Record track 1-8	"Button ""Zoom Up/Down"" (Use with jog wheel)"	Scrolling and selecting track vertically
Button "Track <"	Shift one channel up	"Button ""Zoom In/Out"" (Use with jog wheel)"	Zoom in/out track horizontally
Button "Track >"	Shift one channel down	"Button ""Zoom Track"" (Use with jog wheel)"	Zoom in/out track vertically
Button "Bank <"	Shift eight channel up	"Button ""Pan"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "Bank >"	Shift eight channel down	"Button ""EQ"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Loop)"	Activate the loop function	"Button ""Inserts"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "<<"	Activate the rewind function	"Button ""Master"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button ">>"	Activate the fast forward function	"Button ""FX Send"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Stop)"	Activate the stop function	"Button ""VST"" (Use with 1-8 encoders)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Play)"	Activate the play function	Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "(Rec)"	Activate the record function	Button "Page Up"	Flip page backward
		Button "Page Down"	Flip page forward

Mackie Control mode function table (Abelton Live - PVC Overlay)

Controller	Function	Controller	Function
Encoder 1 - 8 (Rotate)	Channel 1-8 pan	Button "View Selector"	No function
Encoder 1 - 8 (Enter)		Button "Track/Clip view"	No function
Fader 1-8	Channel 1-8 volume	Button "Show/Hide browser"	No function
Fader M	Master channel volume	Button "Show/Clip detail"	No function
Button "(Explorer)" 1-8	Select track 1-8	Button "Prev."	Jump to previous marker point
Button "M" 1-8	Mute track 1-8	Button "Add"	Add marker point
Button "S" 1-8	Solo track 1-8	Button "Next"	Jump to next marker point
Button "(dot)" 1-8	Record track 1-8	Jog wheel (Rotate)	-
Button "Track <"	Shift one channel up	Joe wheel (Enter)	-
Button "Track >"	Shift one channel down	Button "Zoom L/R"	-
Button "Bank <"	Shift eight channel up	Button "Zoom Up/Down"	-
Button "Bank >"	Shift eight channel down	Button "Zoom In/Out"	-
Button "(Loop)"	Activate the loop function	Button "Zoom Track"	-
Button "<<"	Activate the rewind function	Button "I/O"	-
Button ">>"	Activate the fast forward function	Button "Pan"	-
Button "(Stop)"	Activate the stop function	Button "Send"	-
Button "(Play)"	Activate the play function	Button "Instrument Rack"	-
Button "(Rec)"	Activate the record function	Button "Return"	-
		Button "Flip"	-

Mackie Control mode function table (Samplitude - PVC Overlay)

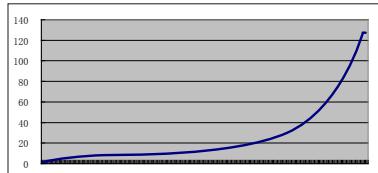
Controller	Function	Controller	Function
"Encoder 1 - 8 (Rotate) Use with button Track, Pan, EQ, Aux-Send, Insert & Mix"	Adjust parameters of channel 1-8 according to selected function (Track, Pan, EQ, Aux-Send, Insert & Mix)	"Button ""Control"" Use with button Marker 1-Marker8"	Delete marker point 1-8
"Encoder 1 - 8 (Enter) Use with button Track, Pan, EQ, Aux-Send, Insert & Mix"	Adjust parameters of channel 1-8 according to selected function (Track, Pan, EQ, Aux-Send, Insert & Mix)	Button "Marker1-Marker8"	Add marker point 1-8
Fader 1-8	Channel 1-8 volume	Button "Read"	Activate the read function
Fader M	Master channel volume	Button "Write"	Activate the write function
Button "(Explorer)" 1-8	Select track 1-8	Jog wheel (Rotate)	Scrolling the play-line forward & backward
Button "M" 1-8	Mute track 1-8	Joe wheel (Enter)	Activate "Click" function
Button "S" 1-8	Solo track 1-8	Button "Zoom L/R"	Scrolling the track view window
Button "(dot)" 1-8	Record track 1-8	"Button ""Zoom Up/ Down"" (Use with jog wheel)"	Scrolling and selecting track vertically
Button "Track <"	Shift one channel up	"Button ""Zoom In/Out"" (Use with jog wheel)"	Zoom in/out track horizontally
Button "Track >"	Shift one channel down	"Button ""Zoom Track"" (Use with jog wheel)"	Zoom in/out track vertically
Button "Bank <"	Shift eight channel up	"Button ""Track"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "Bank >"	Shift eight channel down	"Button ""Pan"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Loop)"	Activate the loop function	"Button ""EQ"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "<<"	Activate the rewind function	"Button ""Aux-Send"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button ">>"	Activate the fast forward function	"Button ""Insert"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Stop)"	Activate the stop function	"Button ""Mix"" (Use with jog wheel)"	Please refer to "Encoder 1-8 (Rotate & Enter)"
Button "(Play)"	Activate the play function	Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "(Rec)"	Activate the record function	Button "Save"	Activate save function
		Button "SMPTE/Beats"	Activate SMPTE/Beats fucntion

HUI mode function table (Pro Tool - PVC Overlay)

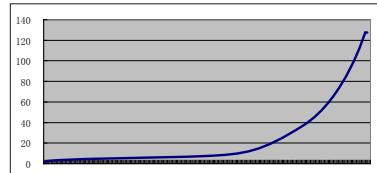
Controller	Function	Controller	Function
Encoder 1 - 8 (Rotate)	"Adjust parameters of channel 1-8 according to selection funtion (Flip, Inserts, Mix, Pan & Sends)"	Button "Pan"	Adjust parameters of channel 1-8 according to Pan function
Encoder 1 - 8 (Enter)	"Adjust parameters of channel 1-8 according to selection funtion (Flip, Inserts, Mix, Pan & Sends)"	Button "Plug-in"	Adjust parameters of channel 1-8 according to Insert function
Fader 1-8	Channel 1-8 volume	Button "Assign"	Activate the Assign function
Fader M	Master channel volume	Button "Compare"	Activate the Compare function
Button "(Explorer)" 1-8	Select track 1-8	Button "Bypass"	Activate the Bypass function
Button "M" 1-8	Mute track 1-8	Button "Mix"	Show/hide the Mix dialog
Button "S" 1-8	Solo track 1-8	Button "Send A - Send E"	Activate the Send A - E function
Button "(dot)" 1-8	Record track 1-8	Jog wheel (Rotate)	Scrolling the play-line forward & backward
Button "Track <"	Shift one channel up	Jog wheel (Enter)	None
Button "Track >"	Shift one channel down	Button "Zoom L/R"	Switch between clips
Button "Bank <"	Shift eight channel up	Button "Zoom Up/Down"	Scrolling and selecting track vertically
Button "Bank >"	Shift eight channel down	Button "Zoom In/Out"	Zoom in/out track horizontally
Button "(Loop)"	Activate the loop function	Button "Zoom Track"	Zoom in/out track vertically
Button "<<"	Activate the rewind function	Button "CMD"	Select mutiple tracks
Button ">>"	Activate the fast forward function	Button "Shift"	Select mutiple tracks
Button "(Stop)"	Activate the stop function	Button "Flip"	Adjust parameters of channel 1-8 according to Flip function
Button "(Play)"	Activate the play function	Button "Read"	Activate the read function
Button "(Rec)"	Activate the record function	Button "Write"	Activate the write function
		Button "Touch"	Activate the Touch function
		Button "Latch"	Activate the Latch function
		Button "Off"	Activate the Off function
		Button "Save"	Activate save function

付録B(キースイッチのベロシティ曲線の選択肢)

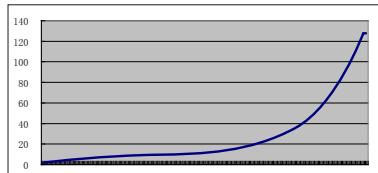
Curve 1



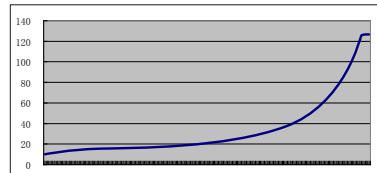
Curve 2



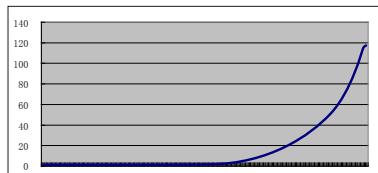
Curve 3



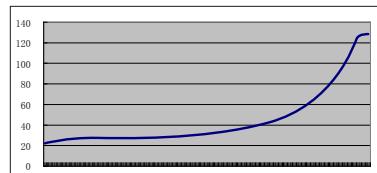
Curve 4



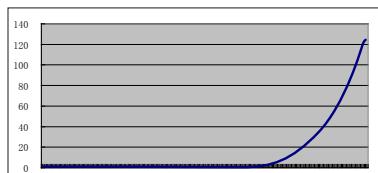
Curve 5



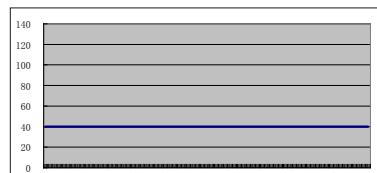
Curve 6



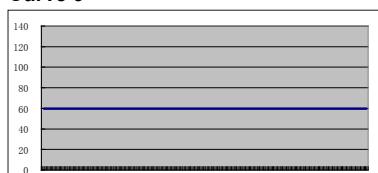
Curve 7



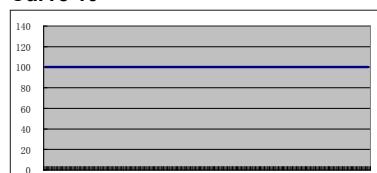
Curve 8



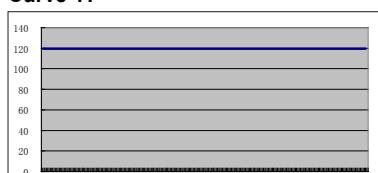
Curve 9



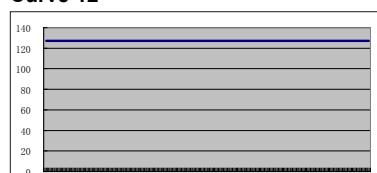
Curve 10



Curve 11

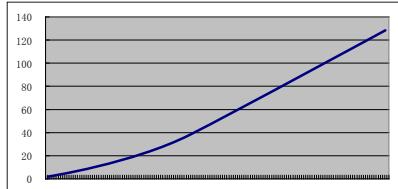


Curve 12

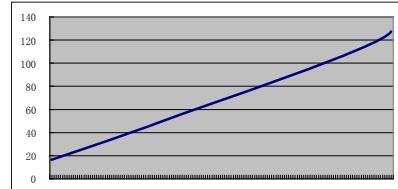


付録C(ドラムパッドのベロシティ曲線の選択肢)

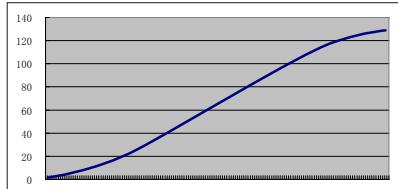
Curve 1



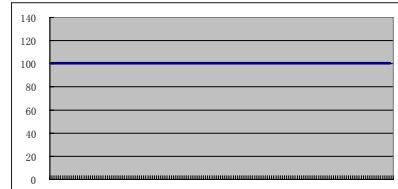
Curve 2



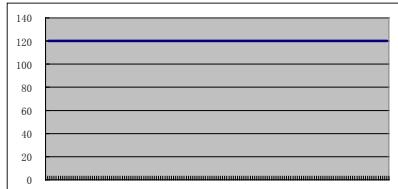
Curve 3



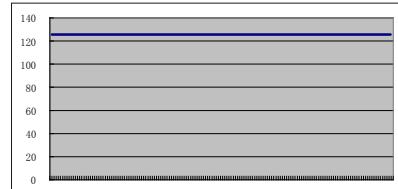
Curve 4



Curve 5



Curve 6



修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください。

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON Service Centre
611 Potomac PL Ste 102
Smyrna, 37167-5655 Tennessee.
United States
Tel.: +1 615 540 989

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
Sound Service
GmbHEuropean
HeadquarterMoriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



Twitter



Instagram



Facebook



Youtube

www.twitter.com/iconproaudio

www.instagram.com/iconproaudio

www.facebook.com/iconproaudio

www.youtube.com/iconproaudio



Website
www.iconproaudio.com



Support
support.iconproaudio.com



Dashboard
iconproaudio.com/dashboard/

www.iconproaudio.com